

# 令和5年度 本宮市総合防災訓練実施要項



令和元年東日本台風の教訓をもとに  
「逃げ遅れゼロ」「犠牲者ゼロ」  
を目指して

【日時】 令和5年10月8日（日）午前8時30分～12時00分

【場所】 〔第1会場〕 本宮河川防災ステーション  
〔第2会場〕 高木地区公民館  
〔第3会場〕 本宮小学校体育館

【主催】 本宮市

# 令和5年度本宮市総合防災訓練実施要項

## 1. 訓練のテーマ

**令和元年東日本台風の教訓をもとに『逃げ遅れゼロ』『犠牲者ゼロ』を目指して**

## 2. 訓練の目的

- (1) 災害対策法第48条の規定に基づき、令和元年東日本台風の教訓を踏まえた内容を防災関係機関、関係団体、住民が一体となって訓練を行い、災害応急対策活動の習熟を図る。
- (2) 防災関係機関・団体との役割分担の確認と連携体制及び共助体制の強化を図る。
- (3) 住民の防災に関する意識の高揚と知識の向上を図る。

## 3. 日 時

令和5年10月8日（日） 午前8時30分～12時00分（3時間30分）

## 4. 場 所

第1会場 本宮河川防災ステーション（メイン会場）

第2会場 高木地区公民館

第3会場 本宮小学校体育館

※第1会場に大型ビジョンカー、第2・第3会場にモニターを設置し、相互に訓練の様子が見られるよう映像配信を行う。  
同時にYouTube配信も行う。

## 5. 主 催

本宮市

## 6. 訓練の想定

令和5年10月4日（水）に、南鳥島近海（太平洋）で発生した台風50号は西に進みながら急速に発達、猛烈な勢力となった。その後も猛烈な勢力を維持したまま北西に進み、日本列島を縦断する見込みのため、気象庁から警戒レベル1「早期注意情報」が発表された。

本宮市では、非常に強い勢力の台風の通過による河川の氾濫及び土砂崩れ等の災害発生を懸念し、台風対策会議を開催し対応を開始した。

10月7日（土）、本宮市では前線の影響で雨が降り始め、関東地方に上陸した台風50号の影響により雨は次第にその強さを増し、県内全域に警戒レベル2「大雨注意報」が発表された。市では、第1次避難所を開設し、市民に対し自主避難を促した。

8日（日）、台風の接近に伴い非常に雨が強くなり、本宮市に警戒レベル3相当情報である「大雨警報・暴風警報」が発表された。市では、災害が発生する恐れがあるため、市役所内に災害対策本部を設置し、地域防災計画に基づき、防災関係機関の応援を得ながら情報の収集など災害応急対策活動の準備を開始した。

## 7. 訓練詳細

訓練 番号	<b>1</b>	予定時間	8:30~8:35	5分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	訓練開始申告					
想定						
内容	・ 市民部長から市長へ訓練開始の申告を行う。					

訓練 番号	<b>2</b>	予定時間	8:35~8:40	5分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	災害対策本部設置運営訓練					
想定	本宮市は、災害対策本部を設置し、防災関係機関（消防団、警察署、消防署）、国土交通省情報連絡員（リエゾン）、県情報連絡員（リエゾン）が到着する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本宮河川防災ステーション（本宮市役所と仮定）に災害対策本部を設置する。</li> <li>・ 各防災関係機関等への連絡通報を衛星携帯電話により行う。</li> <li>・ 防災関係機関（消防団、警察署、消防署）、国土交通省リエゾン、県リエゾンが到着する。</li> <li>・ 災害対策本部では、地図に被害状況を記載したり、ホワイトボードに状況をまとめていく経時活動記録（クロノロジー）の作成を行う。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>3</b>	予定時間	8:40~11:30 (8:40~10:00)	170分 (80分)	訓練場所	高木地区公民館 本宮小学校体育館
種目	避難所開設・運営訓練					
想定	台風による大雨のため避難所を開設する。市職員と自主防災組織が協力しながら避難所を開設する。 避難者の受け入れを行う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策や要配慮者、女性に配慮したレイアウトとする。</li> <li>・ ペット同行避難者のためにゲージを配置する。</li> <li>・ 防災備蓄倉庫から各避難所へ物資の運搬を行う。</li> <li>・ 本宮小学校体育館では、サテライト倉庫からの物資の運搬を行う。</li> <li>・ 避難所の受付、名簿作成、運営を行う。</li> <li>・ 受付で体調チェックを行い、発熱者のゾーニングを行う</li> <li>・ 協力団体（自主防災組織、女性消防協力隊）も避難所運営を行う。</li> <li>・ 支援物資を配布する。</li> <li>・ 保健師による避難者の体調チェックを行う。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>4</b>	予定時間	8:45~8:50	5分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>警戒レベル3「高齢者等避難」発令・避難誘導広報訓練</b>					
想定	台風50号は今後本宮市を直撃する見込みであり、市内に大雨警報・暴風警報が発表されたため、市内へ警戒レベル3「高齢者等避難」発令の周知を行う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部長（市長）が、警戒レベル3「高齢者等避難」開始を指示する。</li> <li>・ 災害対策本部から防災行政無線、エリアメール、公式LINEの発信命令を行う。            具体的な情報（雨量や川の水位）の発信            「わかりやすい言葉」による情報の発信</li> <li>・ 防災行政無線による避難発令の発信を行う。</li> <li>・ エリアメールによる住民への避難発令の発信を行う。</li> <li>・ 市の公式LINEによる住民への避難発令の発信を行う。</li> <li>・ 災害対策本部から市の広報車、消防団車両の出動指示を行う。</li> <li>・ 市の広報車、市内を巡回し、拡声器等で避難の呼びかけを行う。</li> <li>・ 消防団消防車両を使用し、警鐘を鳴らしながら市内を巡回し、避難の呼びかけを行う。</li> <li>・ 要配慮者の避難行動を開始する。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>5</b>	予定時間	8:50~9:20	30分	訓練場所	高木地区公民館 本宮小学校体育館
種目	<b>要配慮者避難誘導訓練</b>					
想定	警戒レベル3「高齢者等避難」発令に伴い、高齢者などの避難誘導を行う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織と民生児童委員、女性消防協力隊、交通教育専門員による、一人暮らし高齢者などの避難行動要支援者への声掛けと避難誘導を行う。（各避難所）</li> <li>・ 災害対策本部に高齢者から避難所への輸送要請を受電。</li> <li>・ 本部長からタクシー（協定会社）を使用した輸送指示。</li> <li>・ 避難所では輸送されてきた要支援者を受け入れる。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>6</b>	予定時間	8:55~9:00	5分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>警戒レベル4「避難指示」発令・避難誘導広報訓練</b>					
想定	阿武隈川および安達太良川の水位が上昇。氾濫危険情報及び土砂災害警戒情報を受け、警戒レベル4への引き上げが必要と判断し、市内に警戒レベル4「避難指示」を発令する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部長（市長）が、警戒レベル4「避難指示」を発令する。</li> </ul>					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対策本部から防災行政無線、エリアメール、公式LINEの発信命令を行う。 具体的な情報（雨量や川の水位）の発信 「わかりやすい言葉」による情報の発信 緊急性が伝わるような発信の仕方</li> <li>・ 防災行政無線による避難指示の発信を行う。</li> <li>・ エリアメールによる住民への避難指示の発信を行う。</li> <li>・ 市の公式LINEによる住民への避難指示の発信を行う。</li> <li>・ 市の広報車、市内を巡回し、拡声器等で避難の呼びかけを行う。</li> <li>・ 消防団消防車両を使用し、警鐘を鳴らしながら市内を巡回し、避難の呼びかけを行う。</li> <li>・ 一般者の避難行動を開始する。</li> <li>・ 県情報連絡員（リエゾン）を通じた県への情報伝達訓練（自衛隊派遣）を実施する。</li> <li>・ 自衛隊の派遣要請を行う。</li> </ul>
--	---

訓練 番号	<b>7</b>	予定時間	9:00~11:30	150分	訓練場所	河川防災ステーション 高木地区公民館 本宮小学校体育館
種目	<b>ライフライン復旧訓練</b>					
想定	<p>台風の影響により市内で停電や通信障害が発生しているため、優先順位をつけながら、医療機関や官公署、防災拠点施設、避難所等の電力や情報通信ネットワークの復旧訓練を実施する。</p> <p>また、LPガスを使用したハイブリッド型発電機により電源を確保する。</p>					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東北電力ネットワーク株式会社郡山電力センターへ電力の早期復旧を要請する。</li> <li>・ 東北電力ネットワーク株式会社の電源車による電力復旧訓練を行う。</li> <li>・ 株式会社NTT東日本 - 東北のポータブル衛星車による通信復旧訓練を行う。</li> <li>・ 福島県LPガス協会によるハイブリッド型発電機を使用した非常電源確保訓練を行う。 避難所の高木地区公民館と本宮小学校体育館においても、LPガスに接続したハイブリッド発電機を起動させ、電源をつなぎ、バルーン照明を点灯する。</li> <li>・ 水素自動車、電気自動車を使用した非常電源確保訓練を行う。 (トヨタ 水素自動車 MIRAI、日産 電気自動車 リーフ)</li> </ul>					

訓練 番号	<b>8</b>	予定時間	9:30~10:00	30分	訓練場所	高木地区公民館 本宮小学校体育館
種目	<b>要配慮者支援訓練</b>					
想定	高齢者や障がい者、外国人など要配慮者の対応を行う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策や要配慮者、女性に配慮したレイアウト（授乳室、キッズスペース、更衣室など）の紹介</li> <li>・ 聴覚障がい者、外国人避難者、ペット同行避難者の対応を行う。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>9</b>	予定時間	9:35~11:30	115分	訓練場所	高木地区公民館 和室
種目	<b>救急救命訓練・AED取扱訓練</b>					
想定						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が心肺蘇生法やAED取り扱い方法を学び、万が一に備えた知識や技術を習得する。</li> <li>・ 安達広域行政組合の消防士による心肺蘇生・AED取り扱い講習を実施する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">全3回 第1回 9:35~10:05 第2回 10:15~10:45 第3回 11:00~11:30</p>					

訓練 番号	<b>10</b>	予定時間	9:40~9:45	5分	訓練場所	高木地区公民館
種目	<b>避難者移送訓練</b>					
想定	<p>高木地区公民館に避難した避難者が定員を超えたため、バスを手配して、総合体育館へ移送する。</p> <p>また、体の不自由な高齢者を福祉避難所へ移送する。</p> <p>個室の環境を望む母子避難者について、宿泊施設への移送を行う。</p>					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通会社へバス及びタクシーの手配を要請する。</li> <li>・ 高木地区公民館の避難者をバスに乗車させ、総合体育館へ移送する。</li> <li>・ 体の不自由な高齢者等を、タクシーを利用し高木地区公民館から福祉避難所（ぼたん荘）へ移送する。</li> <li>・ 個室の環境を望む母子避難者について、タクシーを手配し、災害協定を締結している宿泊施設（ホテルフォーシーズ）への移送を行う。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>11</b>	予定時間	9：50～11：30	100分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>給食配給訓練</b>					
想定	被災者及び災害対策出動者に対する食事供給を行う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難した住民、災害対策出動者、一般観覧者に対し、炊出しによる給食配給訓練を実施する。</li> <li>・ 陸上自衛隊及び赤十字奉仕団が中心となり、地域住民の協力のもと行う。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>12</b>	予定時間	9：55～11：30	95分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>給水訓練</b>					
想定	台風の影響により断水が発生しているため、市民に対し給水車による給水及び避難者へ市保存水の配布の訓練を行う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の給水車による給水を行う。</li> <li>・ 市の保存水を避難者、災害対策出動者、一般観覧者に配布する。</li> <li>・ 災害時の背負い式水のう及び市保存水の紹介をする。</li> <li>・ 本宮市水道工事指定店会の協力を得ながら実施する。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>13</b>	予定時間	10：00～10：10	10分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>水防訓練</b>					
想定	阿武隈川の堤体に漏水している箇所が発見され、堤防の決壊を未然に防ぐため、水防団（消防団）による水防工法を実施する。また、豪雨による洪水や土砂災害についての情報を提供する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部長より本宮市消防団に出動要請する。</li> <li>・ 水防団（本宮市消防団）による釜段工法を実施する。</li> <li>・ 洪水や土砂災害での注意事項を説明する。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>14</b>	予定時間	10：10～10：15	5分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>警戒レベル5「緊急安全確保」発令訓練</b>					
想定	リエゾンから災害発生情報（河川氾濫）を受信。これにより警戒レベル5への引き上げが必要と判断し、警戒レベル5「緊急安全確保」を発令する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国土交通省情報連絡員（リエゾン）からの阿武隈川の越水確認の情報を受ける。</li> <li>・ 本部長（市長）が、警戒レベル5「緊急安全確保」を発令する。</li> <li>・ 災害対策本部から防災行政無線、エリアメール、公式LINEの発信命令を行う。</li> </ul>					

	<p>具体的な情報（雨量や川の水位）の発信 「わかりやすい言葉」による情報の発信 緊急性が伝わるような発信の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災行政無線による緊急安全確保の発信を行う。</li> <li>・ エリアメールによる住民への緊急安全確保の発信を行う。</li> <li>・ 市の公式LINEによる住民への緊急安全確保の発信を行う。</li> </ul>
--	---

訓練 番号	<b>15</b>	予定時間	10:15~10:20	5分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>ドローンによる被害状況確認訓練</b>					
想定	阿武隈川の氾濫により浸水被害が発生。被害範囲を確認するため、ドローンを活用し、被害状況を把握する訓練を実施する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が配備したドローンを利用し、被災箇所を把握する訓練を行う。</li> <li>・ ドローンの映像をモニターに映し、被災箇所を確認する。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>16</b>	予定時間	10:20~10:25	5分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>支援物資輸送・受入訓練</b>					
想定	避難所への支援物資不足を想定し、災害応援協定を結んでいる企業へ応援を要請し、支援物資輸送・受入訓練を実施する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株式会社ヨークベニマル、株式会社青木食品、シマダヤ東北株式会社、株式会社イワキの4社へ支援物資要請及び支援物資の搬送訓練を実施する。</li> <li>・ 届いた支援物資を受け入れる訓練を実施する。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>17</b>	予定時間	10:25~10:30	5分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	<b>災害ボランティアセンター開設訓練</b>					
想定	多数のボランティア受け入れが予想されるため、災害ボランティアセンターの開設を社会福祉協議会に要請する。市からの要請を受けて、社会福祉協議会は災害ボランティアセンターを設置する。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉協議会が中心となり災害対策本部の近くに災害ボランティアセンターを設置・運営する。</li> <li>・ 民生児童委員、赤十字奉仕団、住民等はボランティア登録をする。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>18</b>	予定時間	10:30~10:45	15分	訓練場所	河川防災ステーション
種 目	<b>はしご車による要救助者救出訓練</b>					
想 定	阿武隈川を浸水発生地域と見立て、要救助者を検索するため、災害用ゴムボートが阿武隈川内を巡回し、要救助者を検索する訓練を実施する。 河川敷に取り残された住民を発見したため、はしご車を使用した低所救出救助訓練を行う。					
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場指揮本部を設置する。</li> <li>・ 阿武隈川内を災害用ゴムボートが巡回し、検索をする。</li> <li>・ 消防署からの情報により、はしご車の出動要請する。</li> <li>・ 消防署がはしご車で現場に向かう。</li> <li>・ 河川敷に取り残されている住民をはしご車で救出する。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>19</b>	予定時間	10:45~11:05	20分	訓練場所	河川防災ステーション
種 目	<b>土砂災害連携救出訓練</b>					
想 定	河川敷を土砂崩れ発生場所と見立てる。 土砂崩れ発生場所の複数の住民の行方が分からない状況。 警察、自衛隊、消防署の連携による救助救出訓練を行う。					
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察署の先遣隊による土砂災害実態の把握。</li> <li>・ 自衛隊による倒木等の除去の実施。</li> <li>・ 救助隊による人命検索、救出活動の実施。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>20</b>	予定時間	11:05~11:15	10分	訓練場所	河川防災ステーション
種 目	<b>DMAT派遣・現場救護所設置訓練</b>					
想 定	土砂崩れ発生により多数の傷病者が発生。 消防の救急隊だけでは対応が困難なため、DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣を要請。 救急隊、安達医師会、DMAT連携によるトリアージ及び救急診療を行う。					
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場救護所の設営。</li> <li>・ DMAT等によるトリアージ及び救急診療を行う。</li> <li>・ 救急車による要救助者の搬送。</li> <li>・ トリアージ（負傷度による負傷者の選別）についての説明を行う。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>21</b>	予定時間	11:15~11:30	15分	訓練場所	安達橋
種目	消防防災ヘリコプターによる要救助者救出訓練					
想定	安達橋を浸水した建物の屋上と見立てる。 建物上に取り残された住民がいるとの情報を受け、消防防災ヘリコプターによる救助救出を行う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防署からの情報により、消防防災ヘリコプターの出動要請をする。</li> <li>消防防災ヘリコプターにて取り残されている住民を吊り上げ救助する。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>22</b>	予定時間	11:30~11:45	15分	訓練場所	阿武隈川左岸堤防 ~安達橋
種目	火災防ぎょ訓練					
想定	停電復旧後、雨水がかかった分電盤がショートして通電火災が発生。 密集市街地での火災のため、大規模化することが想定されることから、関係機関と連携し、消火及び防ぎょ訓練を行う。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団と南消防署との連携による中継送水訓練。</li> <li>阿武隈川に向かって一斉放水。</li> </ul>					

訓練 番号	<b>23</b>	予定時間	11:45~12:00	15分	訓練場所	河川防災ステーション
種目	訓練終了申告/閉会式					
想定						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民部長から市長へ訓練終了の申告を行う。</li> <li>市長あいさつ</li> <li>来賓あいさつ</li> </ul>					

## 8. 展示・体験（河川防災ステーション、高木地区公民館駐車場）

### （1）特殊車両等展示

- ・消防署関係車両（はしご車、救助工作車、水槽付消防ポンプ自動車、救急車、指揮広報車）
- ・自衛隊関係車両（大型トラック、野外炊具、小型車）
- ・警察関係車両（白バイ、オフロードバイク、パトロールカー）
- ・国土交通省関係車両（対策本部車、照明車）
- ・東北電力関係車両（低圧応急用電源車、DRサポート車）
- ・NTT関係車両（ポータブル衛星車）
- ・給水車
- ・排水ポンプ車
- ・水素自動車、電気自動車（非常電源確保訓練用）

## (2) 体験・展示

- ・防災VR体験（浸水害・土砂災害・地震）（福島県危機管理課）
- ・消火体験（安達広域消防本部・南消防署）
- ・煙体験（スモークマシン）（安達広域消防本部・南消防署）
- ・通信復旧体験（株式会社NTT東日本 - 東北）
- ・電力復旧体験（東北電力ネットワーク株式会社郡山電力センター）
- ・LPガス供給体験（福島県LPガス協会郡山支部本宮方部会）
- ・防災用品展示・販売（福島ミドリ安全株式会社、眞柄防災株式会社）  
（非常用持ち出し袋、備蓄食、非常用トイレなど）
- ・MY POTEKA（リアルタイム気象情報アプリ）のPR  
（株式会社三技協、明星電気株式会社）
- ・通信機器等展示（情報コネクト株式会社）
- ・FCEV（水素自動車）の展示（株式会社エナジア）
- ・令和元年東日本台風災害の写真パネルの展示

## 9. 参加協力団体

福島県	安達地方広域行政組合消防本部・南消防署
郡山北警察署・本宮分庁舎	陸上自衛隊福島駐屯地第44普通科連隊
国土交通省福島河川国道事務所	本宮市消防団
本宮市議会	本宮市教育委員会
本宮市社会福祉協議会	本宮市民生児童委員協議会
本宮市本宮赤十字奉仕団	本宮市女性消防協力隊
本宮市交通教育専門員	本宮市区長会連絡協議会
行政区 （本宮6区愛宕、本宮6区館町、本宮7区、本宮8区、高木第1、高木第2、高木第3、高木第4、高木第5、高木第6）	
自主防災組織 （6区1・2自主防災会、6区館町町内会自主防災組織、第8区町内会自主防災隊、高木第1町内会自主防災隊、高木第2町内会自主防災会、高木第4町内会自主防災隊、高木第5町内会自主防災会、高木第6町内会自主防災隊）	
株式会社 Mot.Com もとみや	株式会社ヨークベニマル
株式会社青木食品	シマダヤ東北株式会社
株式会社イワキ	協和交通株式会社
増子株式会社	有限会社中央タクシー
東北電力ネットワーク株式会社 郡山電力センター	株式会社NTT東日本 - 東北

福島県LPガス協会郡山支部本宮方部会	一般社団法人 安達医師会
医療法人辰星会 柘記念病院 DMAT	有限会社 千鶴荘
本宮市水道工事指定店会	社会福祉法人 あだち福祉会
ネットヨタ郡山株式会社	福島日産自動車株式会社
福島県立本宮高等学校	手話サークルほほえみ会
東和株式会社	福島ミドリ安全株式会社
眞柄防災株式会社	株式会社三技協
明星電気株式会社	情報コネクト株式会社
株式会社エナジア	